

徳富ダム建設工事共同事業者連携会議（第9回） 議事要旨

日 時 平成21年7月3日（金） 13:30～14:15

場 所 札幌開発建設部 分庁舎E会議室

出席者

共同事業者

河川総合開発事業

北海道建設部土木局河川課	(欠席) 課長	名取	哲哉
	(代理) 主幹	四辻	淳
北海道札幌土木現業所事業部	部長	八木	盛繁

国営かんがい排水事業

北海道開発局農業水産部農業整備課	課長	板倉	純
------------------	----	----	---

北海道開発局札幌開発建設部

農業開発課第1課	課長	濱口	大志
----------	----	----	----

北海道開発局札幌開発建設部

樺戸農業開発事業所	所長	横堀	将
-----------	----	----	---

水道事業

西空知広域水道企業団	事務局長	平	幹夫
------------	------	---	----

道関係部局

北海道農政部農村振興局農村計画課	参事	濱崎	隆文
------------------	----	----	----

北海道環境生活部環境局環境保全課	(欠席) 参事	小林	徹也
	(代理) 主幹	加藤	邦夫

地元自治体

月形町産業課	課長	久慈	富貴
--------	----	----	----

浦臼町産業建設課	課長	川畑	智昭
----------	----	----	----

新十津川町建設課	課長	岩井	良道
----------	----	----	----

雨竜町産業建設課	課長	野村	隆男
----------	----	----	----

【議事録要旨】

開会 〔札幌開発建設部 樺戸農業開発事業所前川副長〕

予定の時刻となりましたので、ただ今から第9回徳富ダム建設工事共同事業者連携会議を開催いたします。

私は、運営事務局の札幌開発建設部樺戸農業開発事業所副長の前川と申します。よろしく申し上げます。議事次第に従って進めさせていただきます。

始めに、会則の改正についてですが、お手元の資料12ページ第5条構成及び13ページ第9条運営事務局についてアンダーラインで示していますが、北海道開発局農業水産部の機構改正に伴い機関名称が変更になっております。

また、資料14ページの参考資料におきましては、北海道建設部土木局の機構改正に伴う変更も併せて名称を見え消しで示しています。

これらにつきまして構成員方々の合意を得て改正いたしたいと思っております。

如何でしょうか。

[一同 異議なし]

これを持ちまして第5条構成及び第9条運営事務局の一部改正について、案のとおり合意を得られ改正することとなりました。

それでは、当連携者会議の座長であります北海道開発局札幌開発建設部農業開発第1課濱口課長の進行により会議を進めさせていただきたいと思っております。
濱口課長よろしく申し上げます。

1 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 座長挨拶
(北海道開発局 札幌開発建設部 濱口農業開発第1課長)

[挨拶概要]

この徳富ダム建設工事共同事業者連携会議は、徳富ダムにおける共同事業の実施に関する事項において、情報交換・精査検証並びに相互調整を行い、事業の円滑な推進を図ることを目的に、平成18年4月を第1回とし今回で第9回目の開催となっております。

今回の連携会議では、事業の状況と今後の見通しについて、平成22年度の概算要求概要、事業の精査検証、事業に関連した地元地域の動静について情報交換並びに調整を行いたいと考えています。

なお本会議における情報公開については、従来と同様に会議が行政機関のみの参集であることから、会議自体は非公開として扱わせていただきますが、議事内容・配布資料につきましては、札幌開発建設部のホームページを始め、共同事業者のホームページからリンクする他、関係自治体の方へ情報公開に努めたいと考えてますので、よろしく願いいたします。

2 徳富ダム建設工事共同事業者連携会議 出席者紹介

3 共同事業者相互の調整

(1) 事業の状況と今後の見通しについて

徳富ダムは、平成16年度から堤体コンクリートの打設を進め、あわせて実施してきた浸透流対策につきましても地質調査を行いながら進めてきたところです。

これら地質調査のうち、ダム上流部の地質調査の結果から、追加的な浸透流対策の必要が生じており、現在、関係機関と対策工法の内容について調整を図っているところです。

試験湛水は、対策工事の実施後、平成22年度末頃に開始する予定です。

これらの事柄につきましては、事前に運営事務局会議において調整を行い、共同事業者並びに関係各位にご理解をお願いしているところです。

(2) 平成22年度 概算要求概要

河川総合開発事業

- 平成21年度までは、ダム管理棟建設及び通信警報設備等の管理設備の製作据付工事を進めてきましたが、平成22年度については、係船設備、流木止め施設など管理設備工事を実施するとともに、基本設計会議資料作成等を行う予定です。

[...平成22年度 概算要求概要へ〔資料-P1,2〕](#)

国営かんがい排水事業

- ・ 徳富ダムを含む農業用排水施設の整備を行う、国営かんがい排水事業樺戸（二期）地区は、平成 3 年度に着手し事業を進めており、平成 21 年度までの進捗は、事業費ベースで 85% を予定しています。

平成 22 年度の概算要求にあたっては、徳富ダムを始めとし、頭首工 1 カ所、徳富ダム注水工等の管水路及びトンネル 1 式を要求しているところです。

徳富ダムは、平成 16 年度から堤体コンクリート打設を進めてきたところです。又、取水放流設備については平成 19 年度から着手しており平成 21 年度には完成する予定です。

[...平成 22 年度 概算要求概要へ〔資料 - P1,3,4〕](#)

水道事業

- ・ 西空知広域水道事業は、平成 7 年に事業認可を受けて、第 4 次拡張事業を実施しています。

平成 20 年度までに第 4 次拡張事業に係る水道施設工事は完了しました。

[...平成 22 年度 概算要求概要へ〔資料 - P1,5〕](#)

(3) 事業の精査検証

河川総合開発事業

- ・ 平成 16 年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果(事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、治水事業の検証結果)を説明。
- ・ 今後も建設コストの縮減に努め、当該事業の 23 年度の完成を図ります。

[...平成 22 年度 概算要求概要へ〔資料 - P6,7〕](#)

国営かんがい排水事業

- ・ 平成 18 年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果(事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、国営土地改良事業の検証結果)を説明。
- ・ 今後もコスト縮減に努め、早期の完了に向けて事業を着実に推進します。

[...平成 22 年度 概算要求概要へ〔資料 - P8,9〕](#)

水道事業

- ・ 平成 18 年度の再評価以降の進捗を踏まえた検証結果(事業の進捗状況、事業コスト縮減の取り組み、事業の必要性、事業を推進する上での課題、事業の達成見込み、水道事業の検証結果)を説明。
- ・ 今後も徳富ダム建設事業により、水道水の安定水源確保を行います。

[...平成 22 年度 概算要求概要へ〔資料 - P10,11〕](#)

(4) 事業に関連した地元地域の動静について

月形町

1. 関連事業

浦臼町の一部を含む札比内北側の札豊地区は、道営土地改良事業で農業用排水路・区画整理・暗渠・客土の整備を行い、農地集積による経営規模拡大と農業生産性の向上を図るものとし、本年度から事業を実施し平成26年度の完成を目指しています。

2. 農業関連

3月までの降雨・積雪量は前年の8割程度であったことから、今後の天候にもよりますが、ダムの水不足により農作物に支障が生じることが予想され、地域としてはダムの早期完成を望む所です。

3. 徳富ダムの視察等

地域活動としまして、昨年同様に町議会・職員・各団体等多数の町民にダム等の視察を行い、ダム事業の必要性をPRしたいと考えています。

浦臼町

浦臼町といたしましては、先月6日に発生いたしました国営かんがい排水施設の取水ポンプの故障による農業用水の通水停止についてご報告させていただきます。

昭和41年から46年に設置された国営かんがい排水施設は、約1300haを受益面積とし、現状において本町の中心となるかんがい施設となっています。

当施設の石狩川からの取り入れ口にあたる取水ポンプが、先月6日に突然停止しかんがい用水の供給ができなくなる事態になりました。

急遽関係者で対応を協議いたしました。復旧にあたり樺戸農業開発事業所様の迅速な対応をいただき、応急的な通水を再開させていただくことができました。

この場をお借りいたしまして北海道開発局、札幌開発建設部並びに樺戸農業開発事業所の皆様に対し、深くお礼申し上げます。

また、まもなく水稻の生育に重要な幼穂形成期を迎えるなど、8月下旬まで予断を許さない状況が続きますので、関係機関の皆様には今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。

なお、応急的な通水を開始してから3週間が経過いたしました。天候不順による数日の遅れは見られますが、水量の減による影響は全くないと伺っております。

今回の非常事態の発生によって、水稻栽培を中心とする本町にとっていかに安定した農業用水の確保が重要であるかを、身をもって実感することができました。

徳富ダムの供用開始が開始されれば2系統のかんがい用水が確保されることとなりますので、リスクの分散という意味からも安定した営農環境が構築されることになり、1日も早い完成を望むものです。

新十津川町

新十津川町といたしまして、「情報公開」、「水需給の状況」、「農業関係」について報告させていただきます。

情報公開（第8回、3/3開催分）

- ・ 従前と同じく、町のホームページ、広報誌（4月号 4/15配布）及び役場建設課窓口に縦覧し、周知に努めています。

水需給の状況

- ・ 冬期の降雪量は3年連続で少雪であったが、山間部の融雪状況は平年並みであり、また降雨等の影響から、現状としては何とか平年並みの通水量を確保しています。

今後の天気次第では、また渇水の危険があり、十分な注意が必要であります。

農業関係

- ・ 本年度、水稻の作付けは、約3,600ha（全て主食用）であり、生育状況は6月15日現在で平年並み（中空知平均）です。
- ・ また病害虫の関係であります。マイマイ蛾の幼虫（毛虫）による被害が発生しています。
（林、木で発生した蛾が風に吹かれ、水田、畑に飛び被害が発生。）
（シラカバ、ハルニレ、稲、野菜等、軟らかい葉を食べる。）

雨竜町

国営樺戸（二期）地区に関連する事業として、国営農地再編整備事業雨竜暑寒地区が、本年度から地区調査が開始されました。調査内容は、土地所有・権利状況調査、土壌調査、受益者説明などが計画されています。

また、地元としての取り組み体制については、関係の農協・改良区・町の三者で協議し、受益者からの相談、要望事項の窓口、伴う札幌開発建設部との連絡調整などを行う「総合窓口」を町産業建設課内に置くこととしました。これにより、今後のスムーズな事業推進を図っていききたい。

道営農地基盤整備事業では、平成21年度から「農地集積加速化等基盤整備事業」2地区の調査設計が実施されます。合わせて、継続地区3地区の事業実施を行っているところです。

徳富ダム見学については、平成21年度6月末現在、2団体、60人。

4 質疑応答

Q1: ダム貯水池の調査とはどのような調査を行っているのでしょうか。

A1: ダム貯水池上流でボーリング調査等により、地質性状の把握を行っております。

今後調査結果を取りまとめ、対策工法などについて関係機関と調整を図っていききたいと考えています。

とりまとめ〔座長〕

事業の状況と今後の見通し及び各事業者の平成22年度概算要求概要と事業の精査検証についての報告並びにここまでの議事の結果、徳富ダム建設工事共同事業者連携会議は、「早期完成に向け努力することを相互に確認できました。また徳富ダム建設にあっては、今後ともコスト縮減に努め事業を着実に進捗する。」ことと致したいと思っております。如何でしょうか。

[一同 異議なし]

ありがとうございました。

5 今後の予定〔事務局より報告〕

次回の連携会議は、実施計画策定期間である2月頃の開催に向けて調整いたします。

情報公開方法についてですが、議事要旨及び配付資料の公開は、連携会議構

成員の確認を得て、速やかに施工主体である北海道開発局札幌開発建設部のホームページに掲載し、共同事業者等は、各自のホームページ上に、上記ホームページのリンクを張り付けていただきます。また、関係4町は、広報に上記ホームページのURLを掲載する一方、各役場の掲示版等に議事要旨及び配付資料を掲げてください。国の実施事業所である樺戸農業開発事業所においても希望者に資料を配付する体制を整えることとしたいと思います。

6 その他〔座長〕

提案など何かございませんか。

- - 特になしの声 - -

それでは、以上を持ちまして第9回徳富ダム建設工事共同事業者連携会議を閉会いたします。ご協力ありがとうございました。

以上